

食事サービスリーダー研修を開催しました



令和2年8月21日佐世保市社会福祉協議会にて「食事サービスリーダー研修」を開催しました。

食事サービスボランティアとは、手作りの食事の提供によって、地域の高齢者等の孤独感の解消や安否の確認、地域のつながりを作ることを目的とした取り組みで、佐世保市内では現在60団体が活動をされています。

今回の研修には、九州文化学園調理師専門学校と佐世保市役所生活衛生課から講師をお迎えして、「高齢者への食事提供で配慮する点や盛り付け方」と「食中毒予防対策」についての講話が行われました。

参加された皆さんからは、今後の活動の参考になったとの感想をいただき、とても有意義な研修になりました。



新型コロナウイルス感染症予防のため、参加者を2つの部屋に分け、リモートで会場をつないでの開催となりました。

ボランティア出前講座 うけたまわります！



佐世保市ボランティアセンターでは、学校、企業、地域のグループなど様々な団体の依頼に対して職員が出向き、無料でボランティア出前講座を行っています。

「これからみんなでボランティアを始めてみたい」「子どもたちにボランティアに関心を持ってほしい」「仲間や、従業員に地域貢献を促したい」などの足がかりに、ぜひご利用ください。

出前講座へのご依頼や
詳しいお問い合わせは、
ボランティアセンター
までお願いします。



長崎県立大学佐世保校での出前講座の様子

夏のボランティア活動 の様子をご紹介します！

コロナ禍中ですが、感染予防に
取り組みながら、学生さんから地域の
皆様まで活動に取り組んでいます！



2020年度 第4号
令和2年10月1日

◆特集◆災害ボランティアセンター



平成29年7月九州北部豪雨
福岡県朝倉郡東峰村の災害ボ
ランティアセンター及び活動現場
【佐世保市社会福祉協議会災害
派遣職員撮影】

登録ボランティア一覧表が新しくなりました

当センターに登録しているボランティアグループ、演芸などの披露を行う個人ボランティアの活動内容を記載しています。活動の依頼はもちろん、活動メンバーを募集しているグループも多くありますので、ボランティア活動を考えられている皆様はご参考にしてください。ボランティアセンター、佐世保市社会福祉協議会にて配布しておりますので、受付にてお尋ねください。



佐世保市ボランティアセンター(社会福祉協議会)
〒857-0864 佐世保市戸尾町5-1 させぼ市民活動交流プラザ1階
TEL: 0956-23-3905/FAX: 0956-42-0102 E-mail: kureyon@sasebo-shakyo.or.jp
時間/10:00~18:45(火~土) 10:00~17:00(日)
休館日/月曜・祝日・年末年始・プラザの休館日



「くれよん」はボランティアの方々のご協力によって発行されています。

特集 災害ボランティアセンター



自然災害が多発している近年、『災害ボランティア』の重要性が広く認識されています。

災害ボランティアは、地震や水害、火山噴火などの災害発生時から復興に至るまで、被災地のために様々な復興復旧のお手伝いを行うボランティア活動です。

『災害ボランティアセンター』は、そんな災害ボランティアと復興復旧の支援を求め人をつなぎ、活動を円滑に進めるための拠点として設置されます。

令和2年7月豪雨 災害ボランティアセンターの現場

令和2年7月豪雨災害を受け、大村市災害ボランティアセンターの後方支援員として派遣された、佐世保市社会福祉協議会職員からの報告です。

令和2年7月6日、記録的豪雨を観測した大村市では各地で冠水や崖崩れ、国道の水没、家屋への浸水など大きな被害が出ました。

このような状況を受け、大村市社会福祉協議会では7月10日から大村市災害ボランティアセンターを開設し、県内各市町社会福祉協議会に対し職員派遣の協力要請がありました。

佐世保市社会福祉協議会からは、7月18日から20日までの3日間災害派遣として職員1名を派遣しましたので、その時の内容や感想等について以下のように報告いたします。



現地でサポートを行った、佐世保市社会福祉協議会 迎 課長補佐

今回、災害の後方支援員として被災地に派遣されるのは、私にとって初めての経験でした。

初日は、災害ボランティアセンターの運営支援に入ることとなりました。

災害ボランティアセンターで行った活動の流れは、まずボランティアの受付を済ませた方々のオリエンテーションを行い、その後、マッチング（活動依頼内容を説明し、ボランティアを募る作業）を行うとともに、メンバーが決まったらグルーピング（リーダーの決定及び送迎ボランティアの調整、ボランティア依頼内容の詳細説明）を行い、必要な資機材を準備して現地での支援活動を行うというものでした。



災害ボランティア受付の様子
必要事項の記入、検温などを行います。

私が派遣された所は、田園地帯にある農家でしたが、豪雨当日は、自宅の横にある山からの小川が氾濫し、大きな岩や泥、水があつという間に家の中に押し寄せ、庭の池で大切に飼っていた大きな鯉も、一部は変わり果てた姿で納屋の奥から発見されたそうです。

大きな岩などは重機を使って取り除いたとのことでしたが、機械では難しい場所を泥のかき出し、浸水した荷物の撤去作業、洗浄作業等を行いました。

猛暑の中の作業で熱中症に注意しながら、ボランティアの皆さんは、泥だらけになりながらも最後まで熱心に作業にあたっておられました。

私は、2日間同じニーズでのマッチングと作業を受け持ちましたが、このニーズについては作業を無事に終了することができました。

派遣3日目の最終日には、自宅の裏山が崩れて土砂が1階住居まで流れ込んだケースでのマッチングとボランティア活動となりました。

前日までにボランティアの皆さんによる土砂の除去作業がだいぶ進んでいましたが、人が住める状態ではなく、引き続きボランティアの皆さんとの作業を行いました。

作業内容は土砂の除去と清掃、洗浄作業が主なものでしたが、予定通りに作業を終了することができました。



支援活動に向かう詳しい場所、依頼の内容、注意事項などを確認する場所。



土砂の除去作業に必要な資材等の貸し出し場所。



ボランティアによる民家での土砂掻き出し作業の様子。

今回、3日間の短い期間ではありましたが、この経験を通じて災害ボランティアセンターの運営方法（受付、マッチング、送り出し、報告等）を実際に体験しながら学ぶことができたことは、貴重な経験となりました。

また、ボランティアとして駆けつけてくれた多種多様な皆さんが、先ず自分にできることをとの思いから、大変暑い中に作業にあたってくださいました。

改めて災害ボランティアの役割の大きさと、日頃からの災害への備えの大切さを感じた3日間となりました。

現在、豪雨水害や地震災害等の自然災害が全国各地で発生し、大きな被害をもたらしています。今回の経験を活かして少しでも貢献できるよう、できることから始めていきたいと思ひます。

ボランティア入門講座開催のお知らせ

ボランティアに興味があるけど、何をしたいのか分からない。どんなボランティアがあるのか知りたい。そんな方を対象に、ボランティアに関する基礎知識、心構えを学ぶ講座を行います。



- ◆日時◆ 令和2年10月24日(土) 13:30~15:00
- ◆場所◆ させば市民活動交流プラザ(戸尾町5-1)
- ◆対象者◆ ボランティア活動に興味がある方
- ◆主催◆ 佐世保市ボランティアセンター
- ◆内容◆ ボランティア活動って何? 活動のコツ、心構え ボランティア活動保険について ※受講料は無料です。

